

多気町小学校統合準備委員会

議事録【要点記録】

1 日時 令和6年5月29日（水） 18:30～20:00

場所 多気町 BANKYO 文化会館 2F 第2講座室

2 出席者

委員：達正弘委員、片倉委員、西村裕之委員、森井委員、横打委員、山中委員、小林委員、中村委員、水谷委員、大西委員、門山委員、西浦委員、達弘樹委員、中森委員、薮谷委員、安藤委員、根門委員、北野委員、大瀬委員、中西委員、橋本委員、野呂委員、西村修久委員、福井委員、明石委員

欠席 伊野委員、達村委員

アドバイザー：近藤准教授、市田准教授

事務局：多気町 小林教育長

多気町教育課 岡井課長、安濃学校統合係長、星合学校教育係長

中森指導主事、森下学校統合主任

受託業者：山本、椋木、西村

3 委員会事項

（1）委員会の概要

町長より開会の挨拶

教育長より挨拶

委員・事務局の紹介

事務局： 多気町小学校統合準備委員会設置条例に基づき、過半数の出席のため委員会成立とする。野呂委員長、森井副委員長の推薦について、一同異議なし。

野呂委員長、森井副委員長より挨拶。

（2）これまでの経過及び学校状況説明について

事務局： これまでの経過及び学校状況を説明。

委員： 学校統合は庁内で決定しているか確認したい。

事務局： 学校統合は庁内で決定しており、本委員会において統合の是非を諮るものではない。

（３） 準備委員会の目的、協議内容、運営に関する事項

事務局： 準備委員会の目的、協議内容、運営について説明。

（４） 各部会、分科会について

事務局： 各部会、分科会について説明。

委員： 意見なし

委員長： （２）～（４）の事務局提案について、賛成多数で承認されたことを確認。

（５） 今後のスケジュールについて

事務局： 今後のスケジュールについて説明。

委員： 意見なし

委員長： （５）の事務局提案について、賛成多数で承認されたことを確認。

（６） 基本構想（案）について

事務局： 基本構想（案）について説明。

委員： 建設候補地の検討状況について確認したい。

事務局： 建設候補地は、比較検討の結果、建設候補地 B（天啓東）に決定している。なお、基本構想（案）について今年 7 月に、各校区で説明会を行う予定である。

委員： PPP/PFI 手法について説明してほしい。

事務局： 従来方式では、設計、建設、維持管理を個別に発注しているが、PPP/PFI 手法の一つである DB 方式では、設計・施工を一括発注し、PFI 手法ではさらに維持管理まで含めて一括発注する。その際、民間事業者は設計会社、建設会社などにより新たに特別目的会社を作って事業に取り組む。また、資金調達も民間事業者が行うものである。

委員： 学校の運営・管理は民間事業者が実施するのか。また、そのメリットを確認したい。

事務局： 学校の運営は行政で行う。ハード面の維持管理のみ民間事業者が行う。行政のメリットは町の財政負担の平準化など、学校側のメリットは、修繕等に関して

民間事業者の迅速な対応などが挙げられる。

委員： 学校の管理を民間事業者に任せることに不安がある。コスト削減というメリットは理解できるが、本当に必要なものに対してはお金がかかっても良いのではないか。

事務局： 現状で、民間事業者が維持管理を行うといったような事業手法が決まっているわけではない。今後、民間事業者に対する市場調査の結果等も踏まえて、コストだけでない様々な観点から最適な手法を検討する。

委員： 造成工事について、搬入路や工事車両の進入路などの設定を確認したい。

事務局： まずは樹木伐採などの敷地整備を行う。現段階で詳細設計をしていないので搬入路を示すことはできないが、今後整理していく。

委員： 交通状況や道路幅などを考慮して工事車両の進入路等を検討してほしい。造成工事に関する詳細な情報を開示してほしい。

事務局： 地元の声を聞きながら検討する。工事着手前には、詳細設計が進んだ段階で、地域住民に対する説明をする予定である。また、盛土、切土の量は敷地内で調整し土を運搬する車両が敷地外を走行することが少ないように検討していく。

（７） その他

准教授： 未来の多気町を担う子どもたちの新しい学び舎を創るために検討をしたい。三重県内の他の自治体など、全国的にも財政負担軽減を目的に PPP/PFI を採用し、民間事業者の資金やノウハウを活用している。（公共施設整備全般でのことであり、学校施設整備に限ったことではない）

また、新しい学校を創るためのアイデアを採用する一つの手法として有効であると考えます。また、先進的な取り組みを行っている事例として、「大熊町立 学び舎 ゆめの森」が参考になる。

准教授： 過去、学校づくりを盛んに行ってきた時代のように、新たな学校づくりに夢を持ち、ポジティブな気持ちで取り組みたい。

事務局： 次回の準備委員会は、8月下旬を想定している。建設検討部会は早々に開催したい。運営検討部会、地域検討部会では次回は合同で3校統合を検討したい。詳細な日程は、追って調整する。

以上